

平成26年4月4日

道 路 局

「道の駅」の第41回登録について

～今回16駅が登録され、1,030駅となります～

「道の駅」は、道路利用者の休憩、情報提供、地域連携の場として、制度発足から20年、全国各地に広がり、現在1,014駅が登録され、「通過する道路利用者へのサービス提供の場」から「地域の課題を解決する場」に成長してきました。

このたび、「道の駅」第41回登録により、新たに16駅を登録しましたのでお知らせします。今回の登録により、全国の「道の駅」は、1,030駅となります。

(添付資料)

- ・第41回「道の駅」登録箇所の特長・個性

問い合わせ先：

道路局 国道・防災課 道路技術分析官 伊藤 正秀（内線 37811）

課長補佐 山田 雅義（内線 37842）

代表：03-5253-8111

直通：03-5253-8493 FAX：03-5253-1620



「道の駅」新たに16箇所登録

○「道の駅」は平成5年に創設された制度

○平成25年10月までに、1,014駅が登録済み

○今回、市町村からの登録申請に基づき、新たに16駅を登録

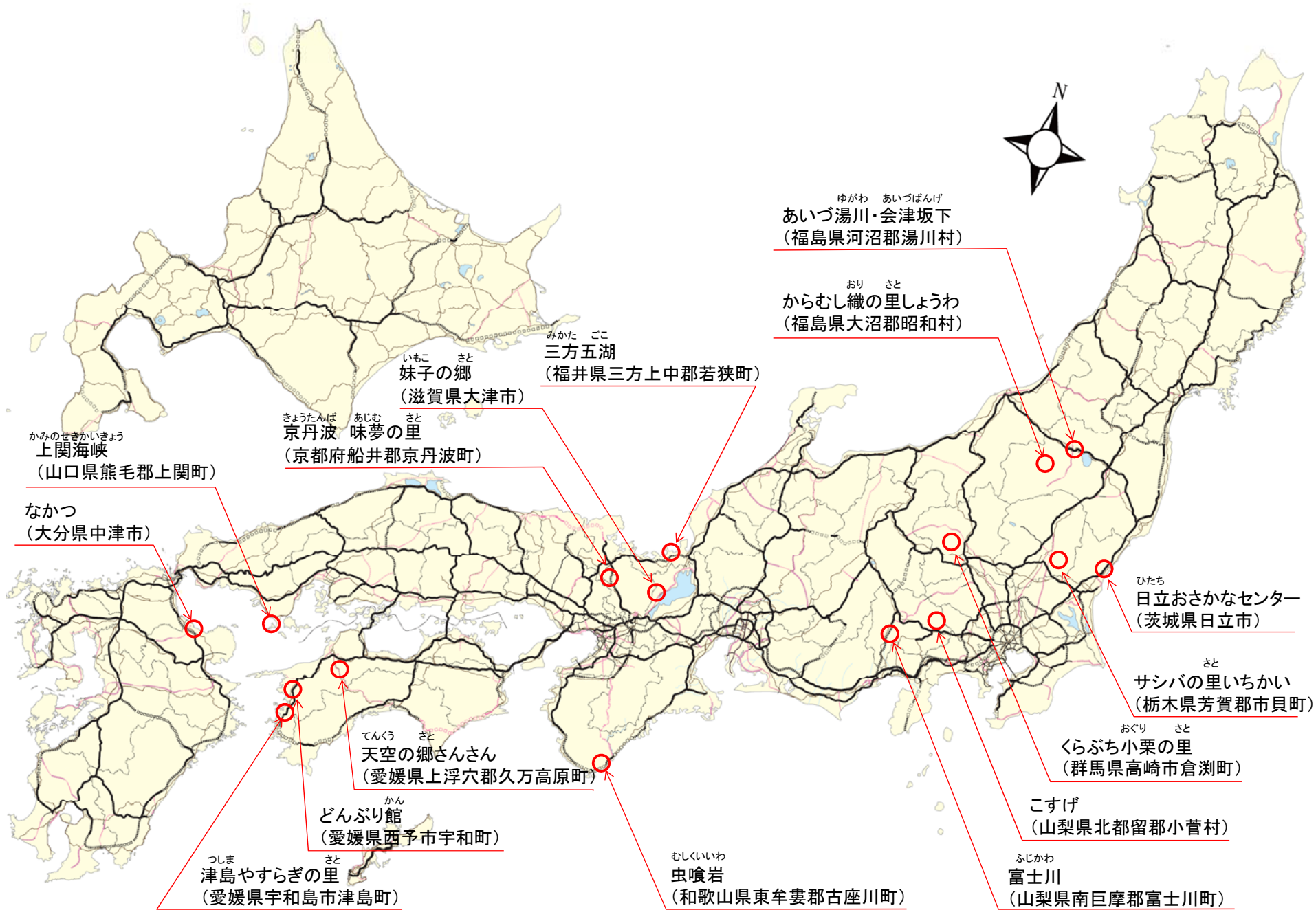
【平成26年4月4日時点で全国で1,030駅】

「道の駅」登録箇所一覧(H26. 4登録分)

所管整備局	都道府県	申請者	駅名	設置箇所	路線名	道路種別	整備手法	オープン予定
東北	福島県	湯川村及び会津坂下町	あいつ 湯川・会津坂下	福島県河沼郡湯川村大字佐野目字五丁ノ目78番地1	一般国道49号	直轄	一体	H26.10
		昭和村	からむし織の里しょうわ	福島県大沼郡昭和村大字佐倉字上ノ原1番地	一般国道400号	補助	単独	H26.8
関東	茨城県	日立市	日立おさかなセンター	茨城県日立市みなと町5779番24	一般国道245号	補助	単独	H26.9
	栃木県	市貝町	サシバの里いちかい	栃木県芳賀郡市貝町大字市塙1270番地	主要地方道宇都宮・茂木線	補助	一体	H26.4
	群馬県	高崎市	くらぶち小栗の里	群馬県高崎市倉渕町三ノ倉296番地1	一般国道406号	補助	単独	H26.4
	山梨県	富士川町	ふじかわ 富士川	山梨県南巨摩郡富士川町青柳町1655番地3	一般国道52号 町道青柳横通り線	直轄	一体	H26.7
		小菅村	こすげ	山梨県北都留郡小菅村3445	村道大久保4号	補助	単独	H26.11
近畿	福井県	若狭町	みかた 三方五湖	福井県三方上中郡若狭町鳥浜第122号31番1	一般国道162号	補助	一体	H27.3
	滋賀県	大津市	いもこ 妹子の郷	滋賀県大津市和邇中528	一般国道161号 湖西道路	直轄	一体	H27.5
	京都府	京丹波町	きょうたんば あじむ 京丹波 味夢の里	京都府船井郡京丹波町曾根深シノ65番地1	一般国道478号 京都縦貫自動車道	直轄	一体	H27.4
	和歌山県	古座川町	むしくいいわ 虫喰岩	和歌山県東牟婁郡古座川町池野山705-1	一般県道 田原古座線	補助	単独	H26.4
中国	山口県	上関町	かみのせきかいきょう 上関海峡	山口県熊毛郡上関町大字室津904番地15	主要地方道 光上関線	補助	単独	H26.11
四国	愛媛県	宇和島市	つしま 津島やすらぎの里	愛媛県宇和島市津島町高田 甲830番地1	主要地方道 宿毛津島線	補助	単独	H26.4
		西予市	どんぶり館	愛媛県西予市宇和町稻生118番地	主要地方道 宇和野村線	補助	単独	H26.4
		久万高原町	てんくう 天空の郷さんさん	愛媛県上浮穴郡久万高原町入野1855-6	一般国道33号	直轄	一体	H26.4
九州	大分県	中津市	なかつ	大分県中津市大字加来814番地	一般国道10号	直轄	単独	H26.4

計16駅

「道の駅」第41回登録箇所（16箇所）



ゆがわ あいづ ばんげ かわぬま ゆがわむら
道の駅「あいづ 湯川・会津坂下」 (福島県河沼郡湯川村)

地域経済

観光

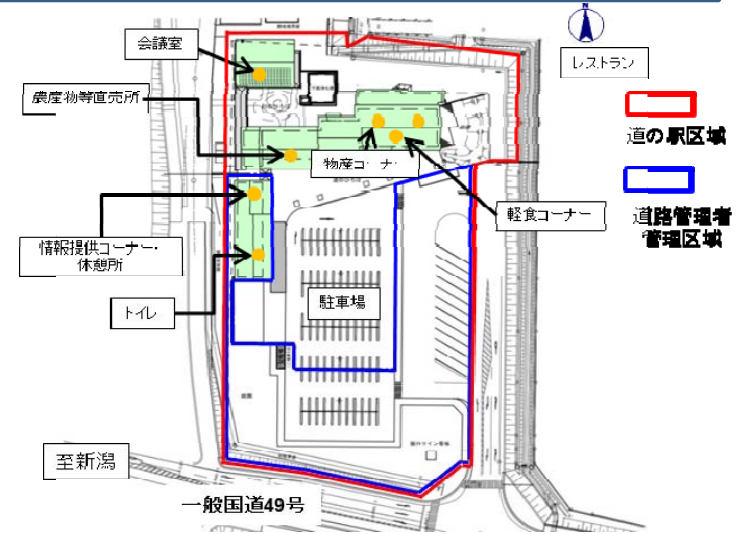
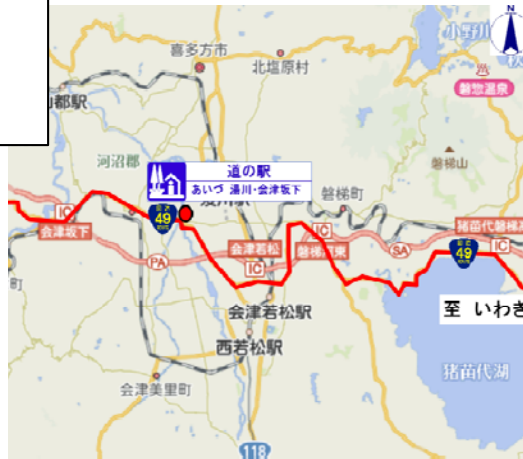
福祉

防災

文化

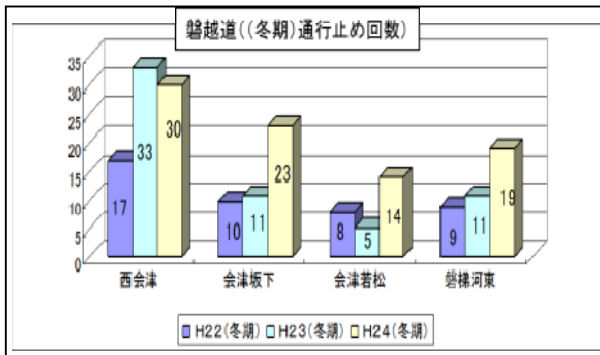
- 地元農家で52品目の農産物を確保し、更に、地元高校と連携した特産品を活かした製品開発により、6次産業化を図る
- 豪雪地域であり、磐越道、国道49号の通行止め時など、冬期交通障害の対応拠点

- 設置者：湯川村及び会津坂下町
- 路線名：国道49号(郡山国道事務所)
- 整備手法：一体型
- 全体面積：約15,196㎡



＜地域の課題＞

- 豪雪により冬期間の高速道路通行止めが発生。並行国道も大渋滞に陥る
- 人口減少、高齢化、1次産業における所得水準の低さにより離農者が増加
- 観光客30万人/年と観光資源を活かしきれない(会津地域:300万人/年)



豪雪により渋滞する並行国道

《具体的な整備メニュー・取組み》

【地域経済の活性化】

- ・地場産品を中心とした農産物販売と地元農家の手数料減免
- ・6次産業化に向け地元高校と連携。
- ・新商品開発に向け地域研修会・発表会開催と表彰制度確立。

【観光周遊の活性化】

- ・「道の駅」スタッフ25名中5名を案内ガイドとして育成
- ・地域の「語り部」26名と連携し「道の駅」を中心として町中周遊企画

【冬期の交通障害の対応拠点】

- ・高速道路、国道通行止め時の一次避難場所として活用
- ・道路情報板を設置し、一次避難の交通誘導を実施
- ・避難者対応を設置者、運営者、道路管理者とて協定締結。役割分担

おり さと おおぬま しょうわむら
道の駅「からむし織の里しょうわ」(福島県大沼郡昭和村)

地域経済

観光

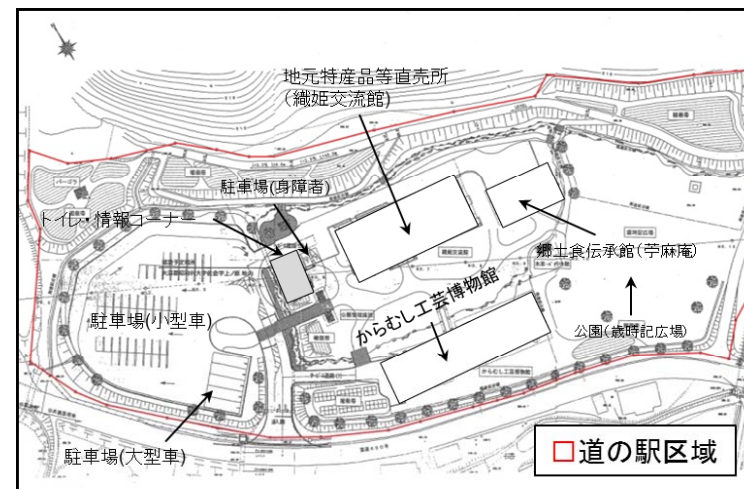
福祉

防災

文化

- 国の重要無形文化財に指定されている「越後上布」等の原材料となっている「からむし」の唯一の生産地。
- 「からむし織り」の体験、製品の普及、販売を行う拠点

- 設置者：昭和村
- 路線名：国道400号(福島県)
- 整備手法：単独型
- 全体面積：約26,987㎡



＜地域の課題＞

- 著しい人口減少と極端な高齢化(53.2%)。定住人口の増加が必要
- 「からむし織り」原材料の生産後継者不足(収入の確保)
- 地域内の観光資源が有効に活用されず、観光客年間9万人にとどまる。



国選定保存技術「からむし織」



「からむし織」を使って作られる越後上布

昭和村内の観光資源



国指定天然記念物「駒止湿原」



冷湖の冷泉

《具体的な整備メニュー・取組み》

【地域経済の活性化】

- ・国内唯一の「からむし」生産拠点として「道の駅」を活用した情報発信
- ・地場産品、名産品販売による交流人口増加

【交流人口・定住人口の増加】

- ・平成6年度開始「織姫体験制度」について「道の駅」で情報発信
- ・同制度の活用による交流人口、定住人口の増加

【観光振興に向け「道の駅」を地域のゲートウェイとして活用】

- ・「道の駅」に観光案内人を常駐させ、地域の観光情報を発信
- ・国指定天然記念物等の案内人を育成し、地域の隠れた名所に案内
- ・地域の隠れた伝説や名所を観光資源化するため「語り部」を育成

ひたち ひたち
道の駅「日立おさかなセンター」(茨城県日立市)

地域経済

観光

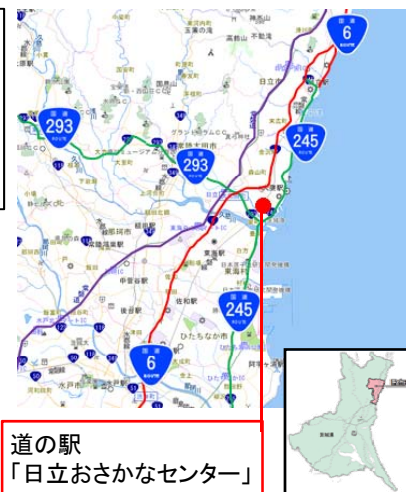
福祉

防災

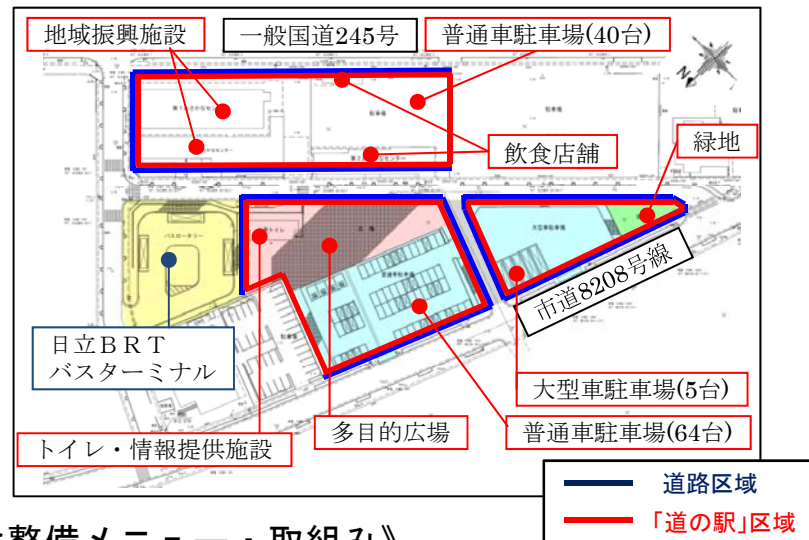
文化

- 地元水産物の原発風評被害に対して安全性を情報発信、旬な魚の販売、料理レシピ等を提供
- 道路情報、観光情報、放射線量等の情報発信

- 設置者：日立市
- 路線名：一般国道245号(茨城県)
- 整備手法：単独型
- 全体面積：11,029㎡(市道を含む)



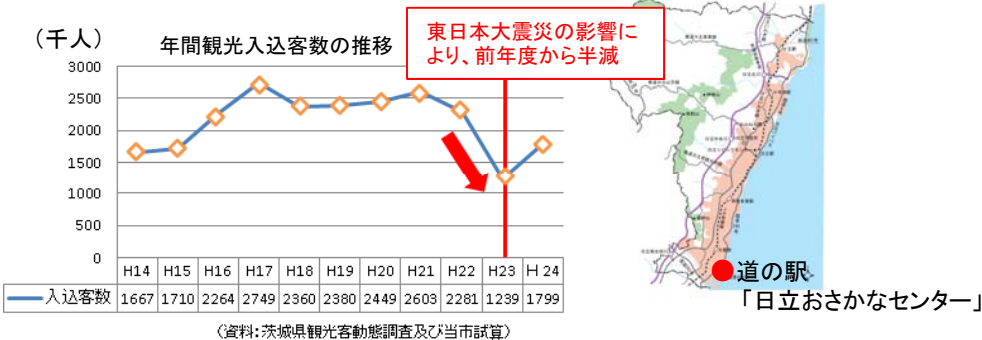
道の駅
「日立おさかなセンター」



<地域の課題>

■福島第一原子力発電所事故の風評被害により、観光入込客数が減少し、地元水産業をはじめとする地域経済に甚大な被害が発生している。

■日立市の南玄関口に道路・観光資源・地場産品等の情報発信・提供する拠点施設が求められている。



《具体的な整備メニュー・取組み》

【風評被害の払拭】

- ・地元水産物の放射性物質分析結果等の情報発信を実施
- ・地域での地元水産物の消費拡大を図り、対外的に安全性をPR

【地元水産業の活性化】

- ・旬の魚情報、料理レシピ等を販売と併せて配布
- ・地元漁港で水揚げした水産物の販売拡充や地域販売を促進
- ・「食」をテーマとしたイベント開催や地場産品(地域ブランド品)の販売拡充

【情報発信】

- ・道路情報、観光情報、空气中的放射線量等を一元的に発信
- ・「食」「健康」の安全に関する情報発信により、風評被害を払拭し、日立市内や茨城県北地域に来訪者を誘導促進

道の駅「サシバの里いちかい」 (栃木県芳賀郡市貝町)

地域経済

観光

福祉

防災

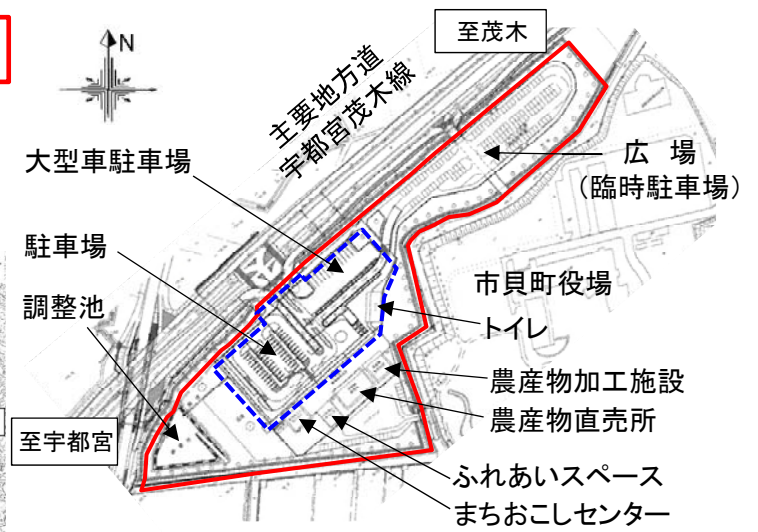
文化

- 「サシバ」に適した里山環境を保全するため、有機栽培、減農薬栽培等の農産物のブランド化
- 「道の駅」を出発地とした「サシバ」等の生き物観察ツアー等も実施

- 設置者：市貝町
- 路線名：(主)宇都宮茂木線(栃木県)
- 整備手法：一体型
- 全体面積：39,000m²



当該箇所



<地域の課題>

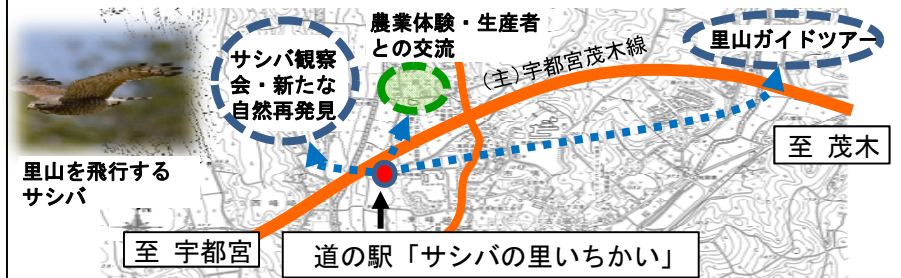
- 高齢化する農業の活性化
 - ・農業収入減少などによる農家の減少、生産意欲の低下
 - ・後継者不足などによる農業従事者の高齢化
- サシバに適した里地里山環境の保全
 - ・絶滅の恐れがあるとされる「サシバ」の最も適した生息地である里地里山が、耕作放棄地の増加により環境が悪化



《具体的な整備メニュー・取組み》

- 有機栽培、減農薬栽培等の農産物のブランド化
- 農産物の販売、加工による農業の活性化
- 生態系の保護の必要性をPR、生き物観察ツアー等の実施

<体験ツアー>



おぐり さと たかさき くらぶちまち
道の駅「くらぶち小栗の里」(群馬県高崎市倉渚町)

地域経済

観光

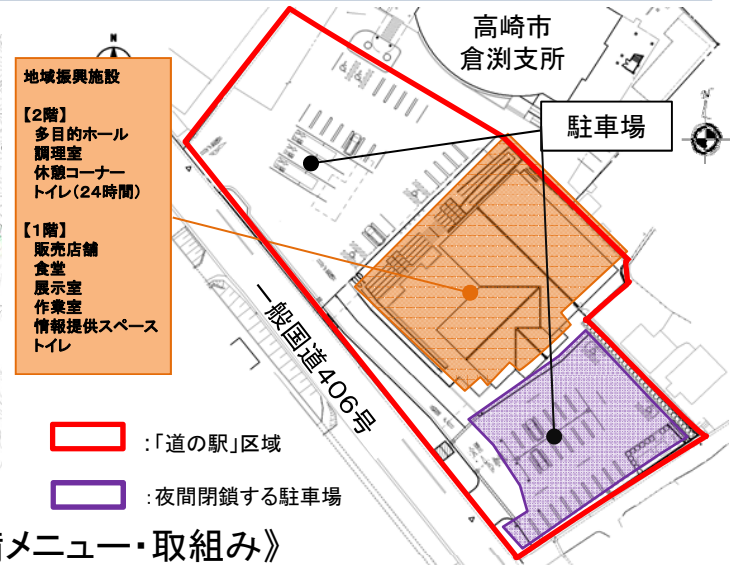
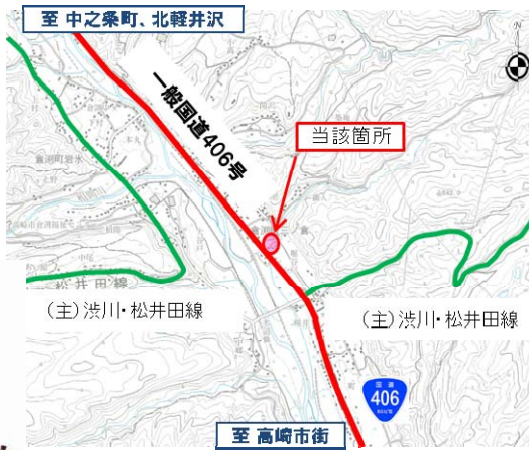
福祉

防災

文化

- 倉渚地域の郷土料理の提供、調理方法の提供等により、地場製品の消費拡大を図る
- 地元中学生がガイドとなり、道の駅を発着地とした「道祖神めぐり」ツアー実施

- 設置者：高崎市
- 路線名：一般国道406号(群馬県)
- 整備手法：単独型
- 全体面積：4,920㎡



＜地域の課題＞

【新たな産業の創出、雇用の確保】

- 少子高齢化による集落機能の維持が大きな課題になっており、地域が有する資源を活かした新たな産業の創出や雇用の場の確保が必要。
- 過疎化を食い止めるため、生活利便施設の集積を図り、地域の中で人が集い賑わう場を形成することが必要。

【情報発信機能を有する休憩施設】

- 倉渚地域は、草津温泉や北軽井沢などに向かう玄関口に位置しているが、24時間利用可能な休憩施設がなく、情報発信が十分にできていない。
- 倉渚地域は、自然資源、宿泊施設や温泉・キャンプ場等の観光資源、小栗上野介の史跡、道祖神等の歴史遺産等の資源があるが、それらの情報を一元的に提供する施設が無いため、観光資源の連携が不十分である。

【地域産業の活性化】

- 倉渚地域の郷土料理を提供し、地場製品の消費拡大を目指す。
- 地域の農林業の従事者が中心となって組織した出荷組合と連携して農産物や加工品を販売する。

【情報発信拠点としての休憩施設】

- 地域で活動する団体と連携し、郷土料理教室等を開催し、地域住民と観光客のコミュニケーションを図る場とする。
- 地元中学生がガイドを務める「道祖神めぐり」の出発地点にして、「道の駅」を目的地化させる。



中学生による「道祖神めぐり」ガイド

《具体的な整備メニュー・取組み》

ふじかわ みなみこま ふじかわちょう
道の駅「富士川」（山梨県南巨摩郡富士川町）

地域経済

観光

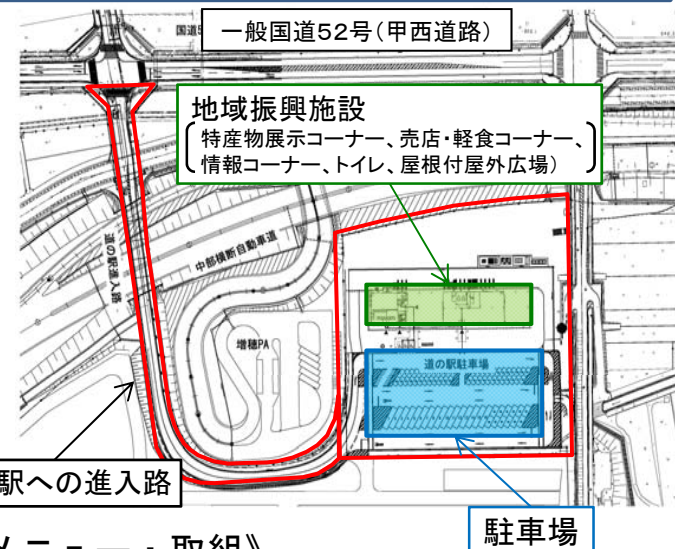
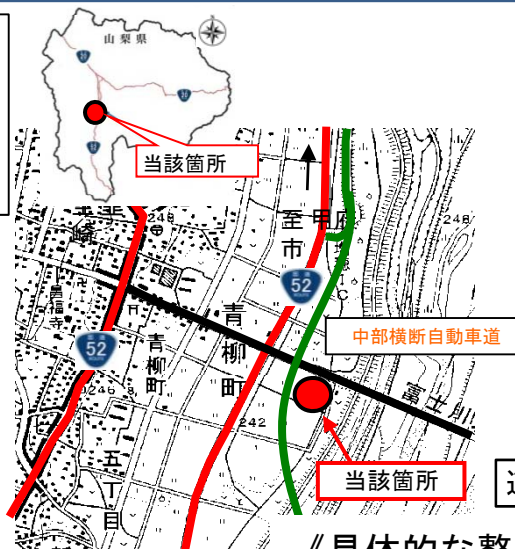
福祉

防災

文化

- 「ゆず」「とまと」等の特産品を、生産者がコミュニケーションを図りながら説明・販売
- 隣接する河川防災ステーションと連携した復旧・支援活動拠点

- 設置者：富士川町
- 路線名：国道52号(関東地方整備局)
- 整備手法：一体型
- 全体面積：17,828㎡

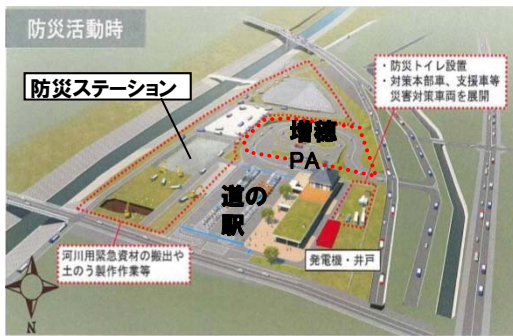


＜地域の課題＞

- 人口の減少、高齢化が進み「交流人口」の拡大が必要
- 中部横断自動車道等の周辺道路網が順次整備されており、地域産業の核となる施設が必要



- 県南部の峡南地域では、東海地震・大型台風などの災害発生時の復旧、支援活動拠点の整備が急務



《具体的な整備メニュー・取組》

- 地元特産物を展示販売し、「交流人口」の拡大を図る
- 地元食材を使用した食事を提供し、地場製品のPRと消費の拡大を目指す
- 町内の文化、歴史、観光や特産物の情報を提供するとともに、地域イベントを開催する

- 発電機、井戸、防災トイレ等を整備し、富士川町の地域防災計画において避難所として指定する
- 隣接する河川防災ステーションと連携し、災害発生時の復旧・支援活動の拠点とする

道の駅「こすげ」 (山梨県北都留郡小菅村)

地域経済

観光

福祉

防災

文化

- 村民が地域パートナーとなった農林業体験活動を「道の駅」で情報発信・紹介
- 多摩川源流の地域特性を活かし、源流大学、NPO等と一体となった交流活動の拠点

- 設置者：小菅村
- 路線名：村道大久保4号(小菅村)
- 整備手法：単独型
- 全体面積：7,838㎡



<地域の課題>

- 農林業の厳しい状況の中で、村民が村で暮らすための経済基盤の強化
- 交流・観光の活性化など新たな取り組み
- 豪雪や大規模災害発生時に道路利用者や地域住民の避難所や復旧、支援活動の拠点整備



「ヤマメの里」として観光活性化を推進



多摩川源流大学の開校

《具体的な整備メニュー・取組》

【村内観光施設の情報発信拠点】

「道の駅」がゲートウェイとなり、村内のイベント情報や「道の駅」周辺の既存施設(温泉・アウトドアパークなど)の情報も発信し、利用者を村内の施設へ誘導し地域の活性化を図る

【地元農産物の販売拠点】

農産物直売所やレストランにおいて、地元農産物の販売や地元農産物を使用した村の味を提供することにより、生産者と都市住民の交流を図る

【復旧・支援活動の拠点】

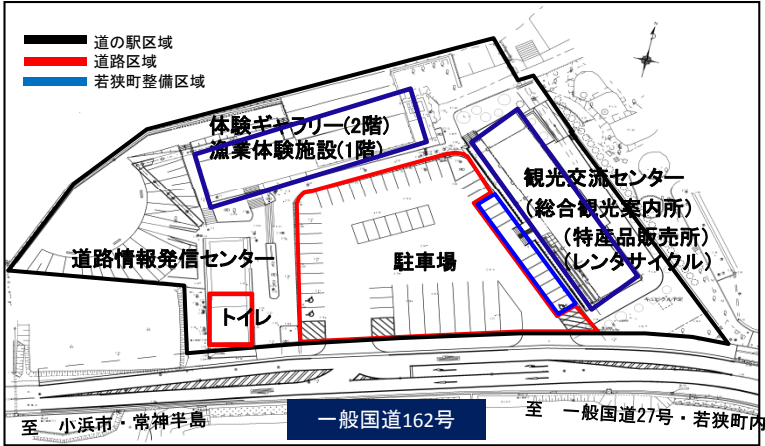
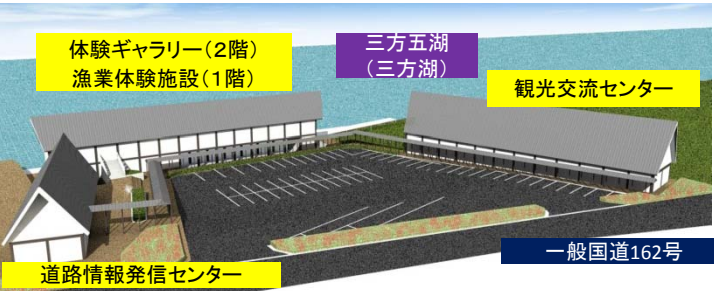
約50名が宿泊できるスペースを確保するほか、自然エネルギーを活用した設備を完備し、炊き出しなどによる食事の提供を行う

みかたごこ みかたかみなかぐん わかさちよう
道の駅「三方五湖」（福井県三方上中郡若狭町）

- 地域経済
- 観光**
- 福祉
- 防災
- 文化

○ラムサール条約登録の三方五湖の湿地の自然、水鳥の情報など、案内人によるきめ細かい情報提供を行うとともに、周辺の見どころ等を案内し、三方五湖の周遊観光のゲートウェイとして機能

- 設置者：若狭町
- 路線名：国道162号(福井県)
- 整備手法：一体型
- 全体面積：約7,200㎡



<地域の課題>

- 若狭町観光客入込数は減少傾向
- 三方五湖周辺の観光情報は、各道路管理者が道路情報板、HP、ラジオ放送等において提供している状況
- 街なかや市街地周辺の観光拠点へ人を呼び込むことが課題



<具体的な整備メニュー・取組>

- 施設内に総合観光案内所を設置し、案内人を配置することで、きめ細かい情報提供、周辺観光のゲートウェイとして機能
- 特産品直売所および体験ギャラリーを通して、通年型で観光客を誘致
- 他の道の駅、(一社)若狭湾観光連盟、(一社)若狭三方五湖観光協会、鯖街道まちづくり連携協議会等と連携し、広域的な観光ルートの共有化

いもこ さと おおつ わになか
道の駅「妹子の郷」 (滋賀県大津市和邇中)

地域経済

観光

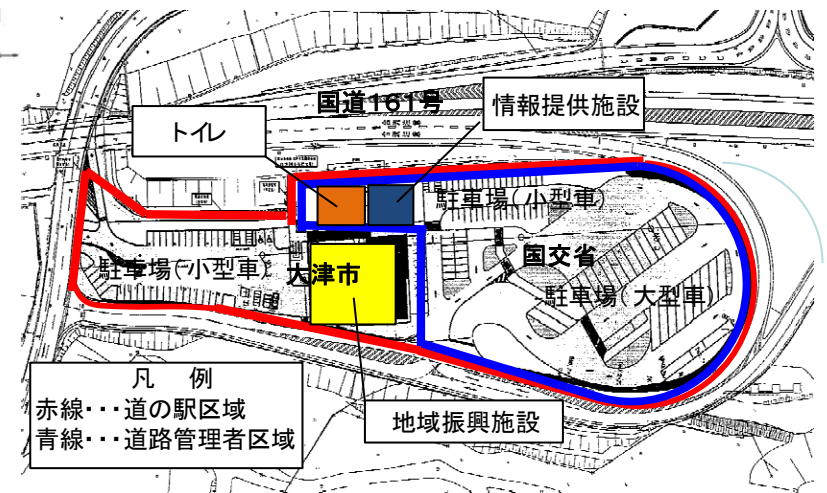
福祉

防災

文化

- 大津市の志賀地域は、琵琶湖から比良山の豊かな自然環境に恵まれ、ウォーターレジャーから、スキー等のウィンタースポーツ、トレッキング等の自然体験ができる地域。
- この特性を活かし、観光コンシェルジュやデジタルツールを活用した情報発信による自然体験メニューを案内するだけでなく、地域の特産品等を紹介することにより、地域のアンテナショップとして機能

- 設置者：大津市
- 路線名：国道161号
(滋賀国道事務所)
- 整備手法：一体型
- 全体面積：約13,600㎡



<地域の課題>

- レジャーの多様化や道路交通網の発達等により志賀地域の観光入込客数は減少傾向
- 地場産品の紹介や地域の魅力を発信し、周辺地域の賑わいを創出



《具体的な整備メニュー・取組》

- 観光コンシェルジュにより、四季折々の見所や自然体験メニュー等の観光情報やイベント情報をタイムリーに発信
- 道の駅のHP、ツイッター、Facebook等のデジタルツールを活用した訪問者とのコミュニケーション
- 地域の食材を活用した新商品や新メニューの開発および飲食スペースでの提供
- 商店街や関係団体と協力した地域特産物のイベント開催

きょうたんば あじむ さと ふない きょうたんばちよう
道の駅「京丹波 味夢の里」（京都府船井郡京丹波町）

地域経済

観光

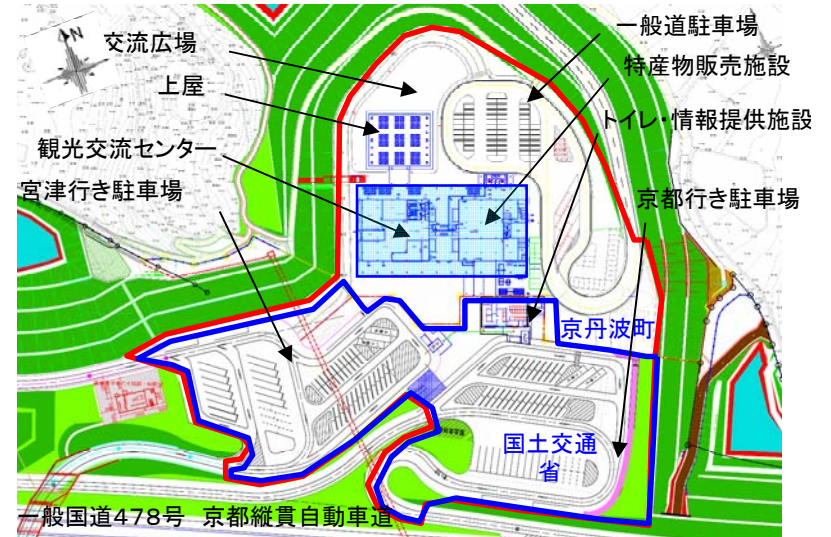
福祉

防災

文化

- 「道の駅」から農業体験、ワイナリーの情報発信など、地域に訪問して頂く着地型観光のゲートウェイとして機能
- 地元高校等との連携による地元産品を利用したオリジナル商品開発、おいしさの拠点

- 設置者：京丹波町
- 路線名：国道478号
（京都縦貫自動車道）
（国交省、京都府道路公社）
- 整備手法：一体型
- 全体面積：約34,000㎡



＜地域の課題＞

- 京都縦貫道全線開通を活かし、食の供給地である京丹波ブランドの更なる確立や街なかへの観光客の誘導が課題



《具体的な整備メニュー・取組》

- 京丹波コンシェルジュの常駐による観光情報の提供
- 手作り観光マップやCMおよびデジタルツールを活用した情報発信
- 町内イベントのサテライト会場を設置し、町内へ観光客を誘導
- 「体験型」「学習型」観光の総合受付窓口機能
- レンタサイクル、観光モデルコース案内等による着地型観光の促進
- 地元高校等との連携による地元産品を利用した食の拠点化

むしくいいわ ひがしむろ こざがわちよう
道の駅「虫喰岩」（和歌山県東牟婁郡古座川町）

地域経済

観光

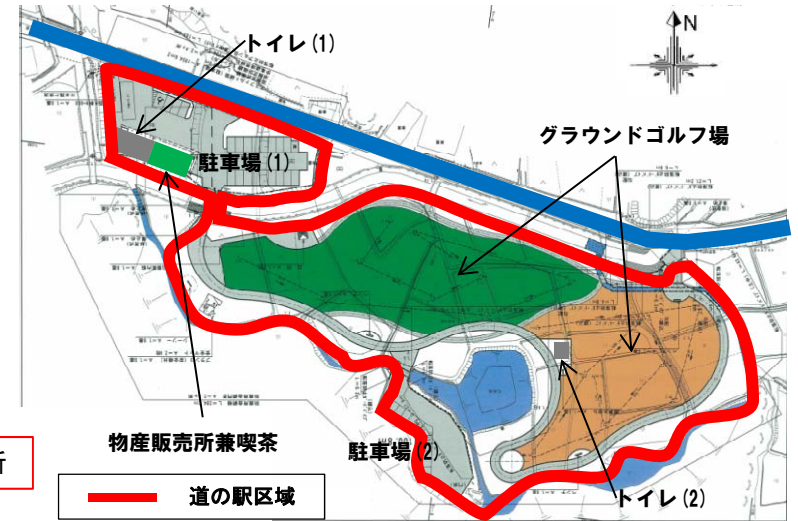
福祉

防災

文化

- 「道の駅」に隣接する国指定天然記念物「虫喰岩」を活用した、地質の観光学習を実施
- 町内の天然記念物「一枚岩」、「滝ノ拝」、「虫喰岩」を周遊する観光コースを形成

- 設置者：古座川町
- 路線名：県道田原古座線
- 整備手法：単独型
- 全体面積：約10,500m²



＜地域の課題＞

■産業に乏しく、日帰り観光者が多く、通過的観光となっており、観光産業による活性化が必要



《具体的な整備メニュー・取組》

- 名勝を巡りながら、自然を活用したカヌー・トレッキング、農業体験等の体験型観光の情報発信拠点
- 虫喰岩等、地質学習の要素を組み入れた観光学習の実施
- 近隣市町村との広域連携拠点
- 観光客等と地域住民の交流の場として喫茶・休憩コーナーを提供
- 地域内交流の場として、グラウンドゴルフ場の整備

かみのせきかいきょう 道の駅「上関海峡」 (山口県熊毛郡上関町)

地域経済

観光

福祉

防災

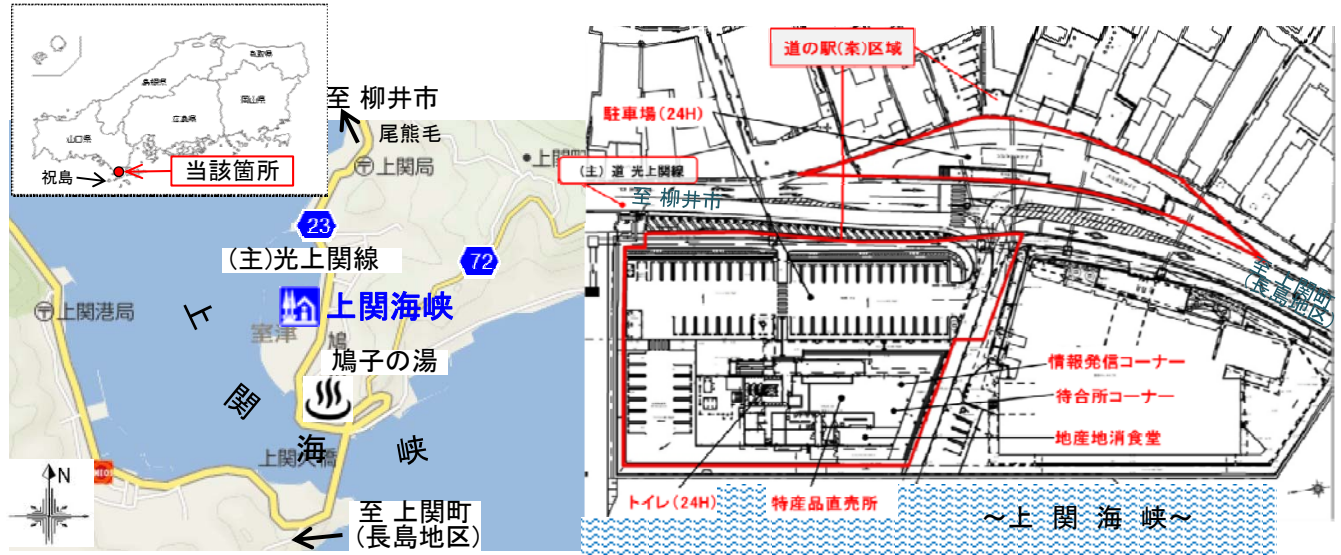
文化

- 地元漁師の直販等により、スーパー等では出荷できない小ロットの水産品を販売
- 離島からの出荷の全品買取による離島漁業の振興

- 設置者：上関町ひかりかみのせきせん
- 路線名：(主)光上関線
- 整備手法：単独型
- 全体面積：約4,300㎡



施設全体イメージパース



施設全体イメージパース 《具体的な整備メニュー・取組》

<地域の課題>

- 過疎化・少子高齢化の進行による漁業人口の減少・後継者不足
- 町内に水産物の流通ルートがなく、遠方の市場へ出荷するため、輸送コストが大きな負担
- 高品質化(鮮度・選別)した出荷物の安定した販路確保と単価アップ

【上関町の漁業人口と漁獲量の推移】

	昭和61	平成24
漁業人口(人)	623	338
漁獲量(t)	1,571	510

現在の組合員338人の平均年齢：67歳
(うち50歳以下の人数：32人)

主な出荷先(距離)
 ・柳井魚市場(19km)
 ・岩国魚市場(48km)
 ・広島魚市場(89km)
 ・福山魚市場(193km)

- 地元漁協が出荷する魚介類の直売所を設置(町)
- スーパー等には出荷できない規格外品・小ロット品の販売(町)
- 漁業者自身で出荷の調整を可能とするため、水槽を設置(町)
- 離島(上関町祝島)の出荷ハンデ対策として、離島の出荷は全品買取(町)
- 年間来館者数12万人の周辺温泉施設と連携したイベントや販売促進プランの策定(町)



つしま さと うわじま つしまちよう
道の駅「津島やすらぎの里」（愛媛県宇和島市津島町）

地域経済

観光

福祉

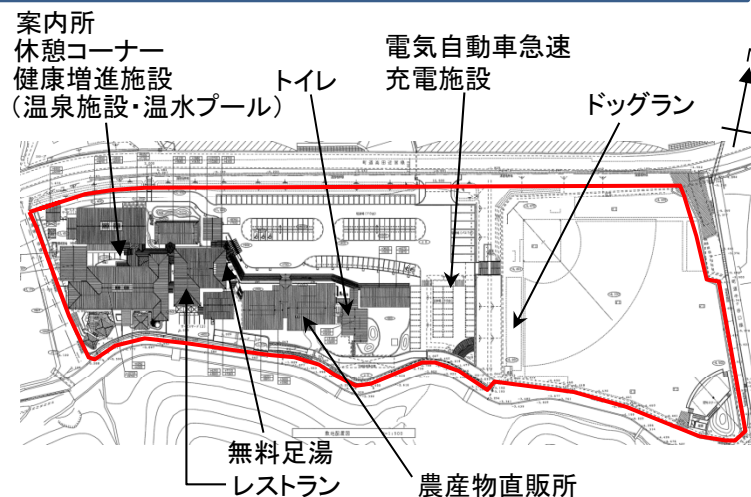
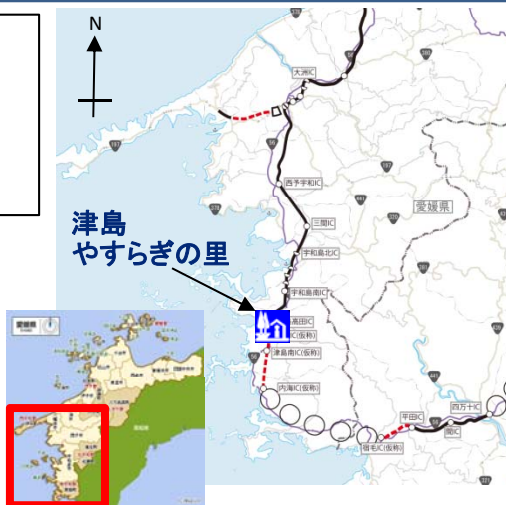
防災

文化

- 温泉施設を活用して、地域の高齢者等の健康増進、交流の場として22時まで営業※
- 農産物直販所への出荷、物産品の出荷等で、地域の方が集まる場、コミュニティを図る場を提供

※案内所・休憩コーナー・健康増進施設

- 設置者：宇和島市
- 路線名：主要地方道宿毛津島線
- 整備手法：単独型
- 全体面積：約33,674㎡



<地域の課題>

■津島高田ICに隣接する当施設を地域住民のみではなく、域外来訪者にも利用してもらうため、魅力あるサービスの提供が必要とされている。



《具体的な整備メニュー・取組み》

■22時まで営業※さらに地域情報発信機能の強化として、案内人を設置、域外来訪者に有用な道路・観光情報を提供。

※案内所・休憩コーナー・健康増進施設
 県内道の駅で一番遅くまで営業

■地元の御神木から作られた、『日本一の樹根太鼓』をきっかけに地域住民による太鼓集団が形成され、道の駅を拠点に活動することで、文化の形成と地域内外との交流を図る。



温泉やプールなどの健康増進施設



日本一の樹根太鼓



地域内外で活動

道の駅「^{かん}どんぶり館」^{せいよし うわちょう}（愛媛県西予市宇和町）

地域経済

観光

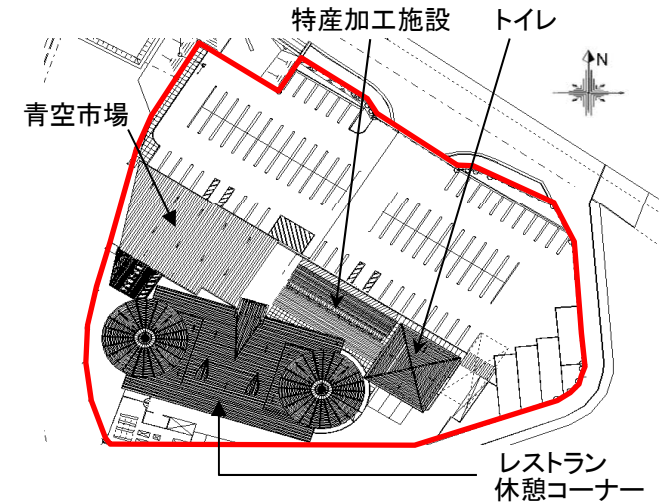
福祉

防災

文化

- 「四国西予ジオパーク」の自然景観を活かしたツアーの出発拠点となるとともに、ジオパークをガイドできる スタッフを常駐し、地元ならではの情報を発信
- また、ジオパークガイドの育成、講演会も実施

- 設置者：西予市
- 路線名：主要地方道宇和野村線
- 整備手法：単独型
- 全体面積：約7,485㎡



<地域の課題>

■平成25年9月に認定された新しい観光資源『四国西予ジオパーク』を活かした観光振興・地域活性化が望まれている。

■西予市内にジオパークの見どころ『ジオサイト』が点在しており、情報発信・案内の拠点となる施設が必要。



《具体的な整備メニュー・取組み》

- 案内所の設置し、ジオパークを案内できるスタッフを配置
- 旅行会社と連携して「道の駅」を出発地とするツアー
- ジオパーク講習会の開催
- ジオパークガイドの養成



てんくう さと かみうけな くまこうげんちよう
道の駅「天空の郷さんさん」（愛媛県上浮穴郡久万高原町）

地域経済

観光

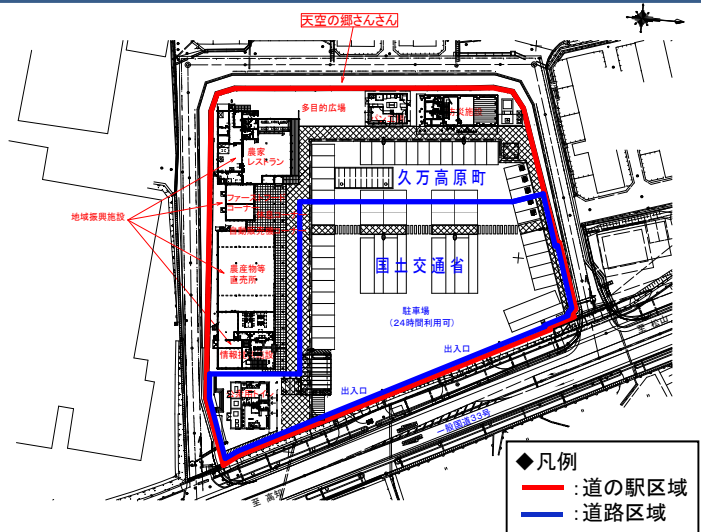
福祉

防災

文化

- 農業指導員、生産者との勉強会等により農産品の品質向上、ブランド化、6次産業化
- 高齢者農家への集荷により、生きがいの場、独居高齢者の見守りを実施

- 設置者：久万高原町
- 路線名：国道33号
（松山河川国道事務所）
- 整備手法：一体型
- 全体面積：約5,785㎡



＜地域の課題＞

- 久万高原町は、愛媛県のほぼ中央部の中山間地に位置し、県内でも高齢化が進んだ地域である。
- 久万高原で採れる野菜は、「高原野菜」と呼ばれ高い評価を得ているが、更なる振興を図る必要がある。
- 農林業をはじめ地域産業の育成、高齢化対策の充実など、地域課題に対応したまちづくりを推進する必要がある。

■地域コミュニティの創出による地域活性化を図る必要がある。



《具体的な整備メニュー・取組み》

【地場産業の振興拠点づくり】

- 高齢農業者支援のための野菜等のまとめ集荷を実施（町・地元団体）
- 野菜等の品質向上のために農業経営者に対する勉強会・講習会を実施（町・県）
- 農商工経営者等と「道の駅」が連携し、6次産業化に取り組む（町）
- 地場産品によるオリジナル商品の開発（町）

【交流・もてなしの場づくり】

- 久万高原町と地域の各種団体が連携し、地域住民が主体となって毎月1回程度のイベントを開催（町・地元団体）
- 地元の文化活動団体等による作品展等を定期的で開催（町・地元団体）

道の駅「なかつ」^{なかつ}（大分県中津市）

地域経済

観光

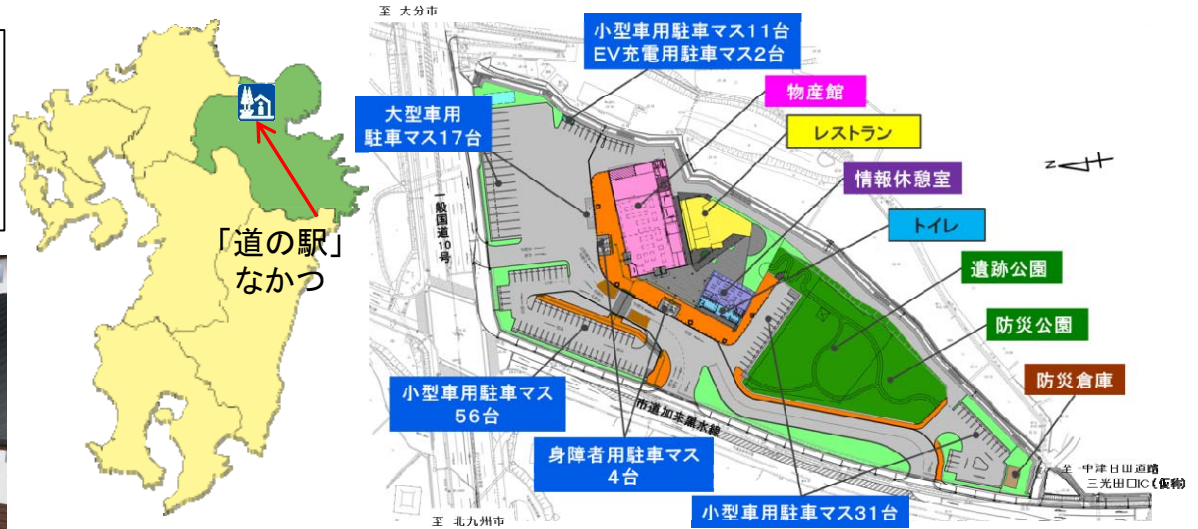
福祉

防災

文化

- 地産地消にこだわった、特産のハモ、唐揚げなどの味わえる場を提供
- 観光案内人を配置し、^{やばけい}耶馬溪や城下町中津へ誘導、「道の駅」周辺の古代遺跡へ誘導する、歴史・文化を伝える場

- 設置者：中津市
- 路線名：国道10号(大分河川国道事務所)
- 整備手法：単独型
- 全体面積：約21,400㎡



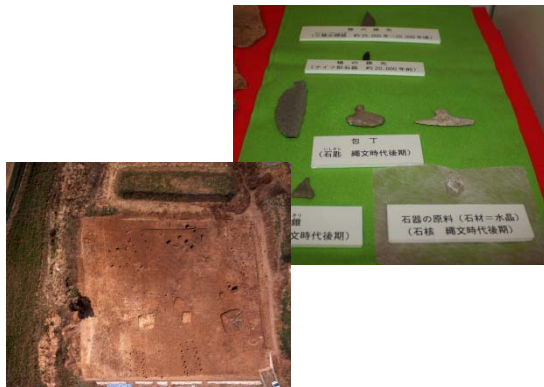
＜地域の課題＞

■市全体への周遊に課題



「からあげの聖地」として食文化を発信

■歴史・文化の発信力に課題



法垣遺跡をはじめとする遺跡群が存在

《具体的な整備メニュー・取組み》

- 中津市産の農水産物を販売する物産館
- 中津市のからあげをPRするからあげ店
- 特産品を提供するレストラン

- 道の駅区域内にある遺跡を活用した遺跡公園
- 出土品を展示する情報休憩室
- 周辺観光や歴史・文化を案内する専属案内人

- 誰でも容易に情報取得が出来るようFree-Wi-Fiを設置
- 大分県ビジョンに基づくEV充電器を設置
- 広域的な防災拠点となるよう防災機能を付加



～参考～ 「道の駅」の概要



「道の駅」の目的と機能

「道の駅」の目的

- ・道路利用者への安全で快適な道路交通環境の提供
- ・地域の振興に寄与

「道の駅」の機能

休憩機能

- ・24時間、無料で利用できる駐車場・トイレ

情報発信機能

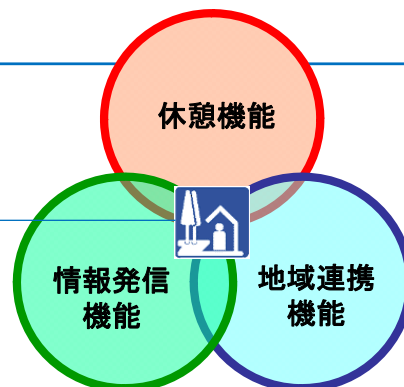
- ・道路情報、地域の観光情報、緊急医療情報などを提供

地域連携機能

- ・文化教養施設、観光レクリエーション施設などの地域振興施設

「道の駅」の基本コンセプト

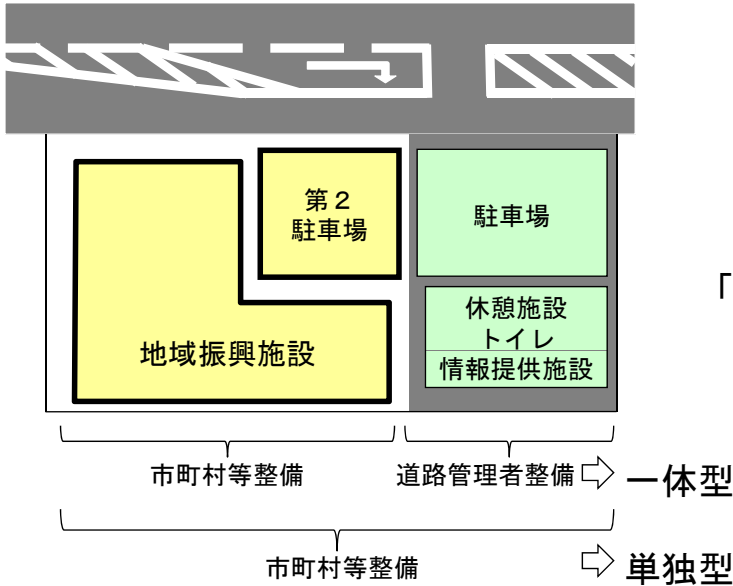
地域とともに作る
個性豊かな
にぎわいの場



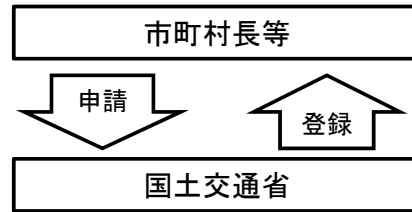
災害時は、防災機能を発現

- 「道の駅」は、市町村又はそれに代わり得る公的な団体が設置
- 登録は、市町村長からの登録申請により、国土交通省で登録
- 整備の方法は、道路管理者と市町村長等で整備する「一体型」と市町村で全て整備を行う「単独型」の2種類

整備主体と整備内容



「道の駅」の登録手続き



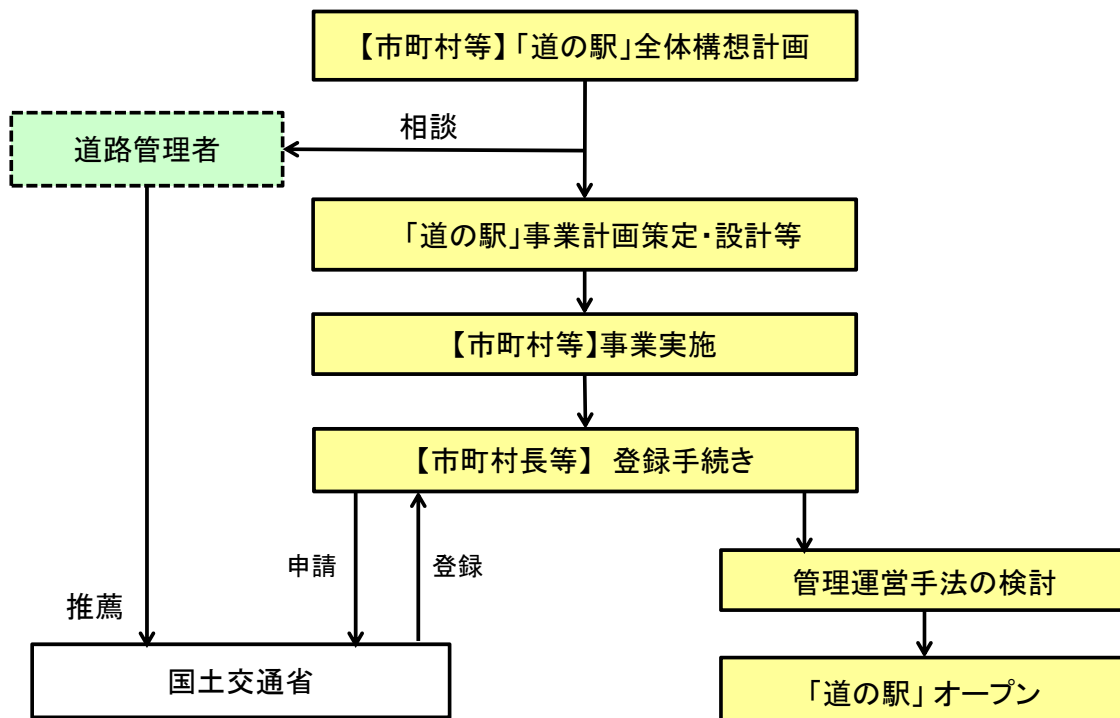
「道の駅」の登録数

平成25年10月現在

「道の駅」総数1,014駅

うち一体型：586駅(58%)

うち単独型：428駅(42%)



※道路管理者の簡易パーキングの計画がある場合、道路管理者が整備する簡易パーキングと一体的に整備する場合がある。(一体型)

